

砂丘のふらここ展 2013 事業報告書

実施主体名	砂丘のふらここ展 2013 第 25 回倉吉文化団体協議会連合展 実行委員会																																																												
事業名	砂丘のふらここ展 2013 第 25 回倉吉文化団体協議会連合展																																																												
事業実施期間	平成 25 年 8 月 28 日 (水) ~平成 25 年 9 月 1 日 (日) [5 日間]																																																												
事業実施場所	倉吉博物館																																																												
事業概要	<p>地元で活躍する文化芸術団体・個人により、書道・洋画・版画・写真・日本画・染織と、幅広いジャンルにわたる芸術作品を一堂に展示しました。そして、恒例となった招待作家作品展示には「三島右畊」先生の作品が展示され、オープニングセレモニーの後に、日本南宗会会長中川端月氏によるギャラリートークが行われた。</p> <p>また、今年は特に日韓親善写真家交流事業が同時開催され、同期間に「チェ・ジスン写真展」を倉吉博物館第 1 展示室にて、8 月 29 日 14 時 30 分よりシンポジウム「写真の現在」が博物館玄関ホールにて行われた。</p> <p>・日程について</p> <p>会期：2013 年 8 月 28 日 (水) ~9 月 1 日 (日) [5 日間]</p> <p>2013 年 8 月 27 日 12:30~13:00 作品受付、13:00~17:30 搬入・展示</p> <p>2013 年 8 月 28 日 10:00~オープニングセレモニー</p> <p>2013 年 8 月 29 日 14:30~同時開催日韓親善写真家交流事業シンポジウム</p> <p>2013 年 9 月 1 日 16:00~17:15 撤去・搬出</p> <p>・出品者・出品作品数について</p> <p>洋画 20 名 21 点、日本画 9 名 9 点、版画 20 名 20 点、 写真 28 名 31 点、書道 6 名 17 点、染織 4 名 5 点、招待作家 1 名 13 点 合計 88 名 116 点 (昨年 77 名 100 点) (昨年比：出品者数 114%、出品作品数 116%)</p> <p>具体的な出品者名は以下の通り。</p> <p>招待作家 三島右畊 (日本画)</p> <table border="0"> <tr> <td>洋画</td> <td>阿弓静枝</td> <td>飯田啓子</td> <td>井上冴子</td> <td>入江啓恵</td> <td>入江敏子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亀本恵美</td> <td>小谷順子</td> <td>瀧本京子</td> <td>竹内節男</td> <td>仲野哲也</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中本陽子</td> <td>那須美澄</td> <td>南場兄一</td> <td>南場優</td> <td>西田佐智子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>浜口保</td> <td>林本豊</td> <td>福田春枝</td> <td>森田美幸</td> <td>山根大和</td> </tr> <tr> <td>日本画</td> <td>井谷蘭径</td> <td>栗原誠子</td> <td>田中溪雪</td> <td>徳田三凌</td> <td>中川端月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東原玲泉</td> <td>松本恵春</td> <td>宮本京花</td> <td>山根凌雪</td> <td></td> </tr> <tr> <td>版画</td> <td>荒尾緑</td> <td>石賀恵子</td> <td>石脇正江</td> <td>岡崎一成</td> <td>奥田幸衛</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小田加代子</td> <td>桑田幸人</td> <td>近藤正徳</td> <td>斎江松童</td> <td>坂田秀樹</td> </tr> <tr> <td></td> <td>菅原一代</td> <td>杉本春吉</td> <td>田中達郎</td> <td>トバタカユキ</td> <td>長田司</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中原玉美</td> <td>林小夜子</td> <td>毛利和子</td> <td>山崎勝美</td> <td>山本和男</td> </tr> </table>	洋画	阿弓静枝	飯田啓子	井上冴子	入江啓恵	入江敏子		亀本恵美	小谷順子	瀧本京子	竹内節男	仲野哲也		中本陽子	那須美澄	南場兄一	南場優	西田佐智子		浜口保	林本豊	福田春枝	森田美幸	山根大和	日本画	井谷蘭径	栗原誠子	田中溪雪	徳田三凌	中川端月		東原玲泉	松本恵春	宮本京花	山根凌雪		版画	荒尾緑	石賀恵子	石脇正江	岡崎一成	奥田幸衛		小田加代子	桑田幸人	近藤正徳	斎江松童	坂田秀樹		菅原一代	杉本春吉	田中達郎	トバタカユキ	長田司		中原玉美	林小夜子	毛利和子	山崎勝美	山本和男
洋画	阿弓静枝	飯田啓子	井上冴子	入江啓恵	入江敏子																																																								
	亀本恵美	小谷順子	瀧本京子	竹内節男	仲野哲也																																																								
	中本陽子	那須美澄	南場兄一	南場優	西田佐智子																																																								
	浜口保	林本豊	福田春枝	森田美幸	山根大和																																																								
日本画	井谷蘭径	栗原誠子	田中溪雪	徳田三凌	中川端月																																																								
	東原玲泉	松本恵春	宮本京花	山根凌雪																																																									
版画	荒尾緑	石賀恵子	石脇正江	岡崎一成	奥田幸衛																																																								
	小田加代子	桑田幸人	近藤正徳	斎江松童	坂田秀樹																																																								
	菅原一代	杉本春吉	田中達郎	トバタカユキ	長田司																																																								
	中原玉美	林小夜子	毛利和子	山崎勝美	山本和男																																																								

	<p>写真 朝倉雅仁 新勝人 池上憲文 磯江一美 今井八重子 上田福美雄 大西忠文 尾川伸弘 川本東洋 佐藤祐 里田晴穂 清水節子 津村睦男 豊嶋智幸 中村武 西谷照子 秦野のぼる 牧野幹代 松田龍太郎 松原幹夫 森本すま子 森脇登美子 山田敏和 山田直人 山根喬市 山本浩一 山脇賢治 吉田俊夫</p> <p>書道 幾田こころ 加藤三良右衛門 藤田春水 牧田このみ 山田美鈴 吉本千寿子</p> <p>染織 加納和子 名越輝 牧幸子 山田千代美</p> <p>昨年度までのふらここ展に加え地元作家の作品発掘、賛助出品、韓国江原道との交流などが加わり出品者数および出品数が増えた。</p> <p>・入場者数について</p> <p>8月28日(水) 午前：68名、午後：19名、 合計：87名 8月29日(木) 午前：24名、午後：79名、 合計：103名 8月30日(金) 午前：34名、午後：39名、 合計：73名 8月31日(土) 午前：62名、午後：40名、 合計：102名 9月1日(日) 午前：48名、午後：87名、 合計：135名</p> <p>総合計 500名 (昨年 501名) (昨年比：入場者数 100%)</p> <p>集客結果は、昨年より会期が1日多いにもかかわらず土日の天候に余り恵まれなかった事もある為か、今一步のところであった。</p>
その他	<p>・実行委員会について</p> <p>本事業に開催すにあたり、下記の日程にて実行委員会を開催した。</p> <p>第1回実行委員会 2012年9月23日 第2回実行委員会 2012年12月6日 第3回実行委員会 2013年2月7日 第4回実行委員会 2013年3月21日 第5回実行委員会 2013年4月27日 第6回実行委員会 2013年5月31日 第7回実行委員会 2013年6月28日 第8回実行委員会 2013年7月17日 第9回実行委員会 2013年8月19日 第10回実行委員会 2013年12月1日</p> <p>入場者数を増やすためにも、より多くの作家、多くの作品が参加できるよう、広く各分野に年間を通して日常的に声をかけなどのピーアール活動を行い、出品者を増やしていきたい。</p>